



# 高ちゃん ころしん

大山たか子通信 2008.4 No. 25

市議会：087(839)2831

自宅：087(888)3272

eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp

ホームページ：http://wwwi.netwave.or.jp/takachan/



## いよいよ高松市の新総合計画がスタートします!!

平成20年度から27年度までの8年間の高松市新総合計画が新市長のもと大きく船出することとなります。総合計画とはすべての計画の最上級に位置づけられるもので、今後高松市が目指すべき都市像を基本構想において、「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」とし、その実現のために、6つのまちづくりの目標を定め、そのまちづくりを実現する為の政策や施策を掲げ、それごとに目標が定まっています。今後ますます地方分権改革の流れはすすみ、本市としましても尚一層の大切な舵取りをしなければいけない時代となりました。この時期に市会議員としての役割もいや増して重要になってまいります。

そんな中、今年は年頭から街頭演説に取り組んでいます。本来は苦手な分野ではありますが、今現在の課題や問題点に対して、どのように考え取り組んでいくのか、また議会でどのような提案を行っているのか等々、大山高子の議員活動と考えを少しでも皆様に知っていただくと実践しています。3月だけは議会開催中で厳しい状況ですが、今後も週一回のペースで実施してまいります。またお会いすることがありましたらお声がけしていただくと大変うれしいです!

## ● 保健センターで初めて日曜日に乳がん・子宮がん検診を実施!!

30代~60代の女性の死亡率第一位の乳がんまた、若い女性に多く発生している子宮がん対策には、やはりがん検診の受診率向上が一番です。

ただ行きたくても行けない方々も多いので、その受診しやすい環境整備を昨年と一昨年の12月議会で取り上げてまいりました。その結果、20年度から日曜日にも受診できる体制をつくっていくこととなり、2月10日に乳がんの早期発見に効果的なマンモグラフィを搭載したかわいい検診車「こすもす」を市保健センターに止め休日の乳がん検診を試験的に実施いたしました。当日は33人の方が受診され、「平日は仕事があるので、休日検診はとても助かる」との受診者からのお声もありました。また保険の種類に関係なく全ての市民が対象となり(子宮がんは20歳から、乳がんは40歳から2年ごと)受診券が贈られることとなりました。



## 脳脊髄液減少症 支援の会の皆さんと共に厚労相に要望

2月27日、脳脊髄液減少症に対する治療推進を求めている脳脊髄液減少症患者支援の会(大平千秋世話人代表)が、厚生労働省に外添要一厚労相を訪ね、支援の会が集めた34万人を超える署名簿と要望書を提出致しました。太田代表、浜四津敏子代表代行らとともに都築も同席させて頂きました。ブラッド・パッチ療法の保険適用の早期実現や交通事故の自賠責保険の適用、学校でのさらなる周知徹底などを強く要望。外添厚労相も「検討を進める。頑張ってください」と、早期確立に努力するとの考えを述べられ大きな前進となる要望機会となりました。

また、これに先立って国会内で行われた支援の会と公明党との懇談会で太田代表は、患者、家族の声を聞いた上で「困っている人が喜ぶ結果が大事だ。そのために働きます」と決意を語っておりましたが、私都築もこの問題の解決に向けて全力で取り組んでまいります。

県議会議員の  
つつき信行です。  
初めて投稿します。



## 公明党が推進した新年度から実施される事業について

### 自賠責保険料が安くなります。

4月から自動車損害賠償責任保険の保険料が、11年ぶりに引き下げられます。自賠責保険は、全ての自動車とバイクを使用する際に加入が義務付けられている対人賠償の強制加入保険です。公明党は、ガソリン、軽油の値上がりがか家計を直撃していることを重視して、昨年12月に開かれた原油高騰緊急対策関係閣僚会議で自動車ユーザーへの負担軽減策の一環として自賠責保険料の引き下げを主張しました。引き下げ額や引き下げ率は、地域や車種などによって異なりますが、普通自動車の場合は9260円、軽自動車の場合は6710円など、平均で24.1%引き下げられます。



## 奨学金がますます充実します！

公明党が一貫して推進してきた奨学金が、2008年度も貸与額、貸与人数ともに、更に拡充されます。日本学生支援機構の奨学金は4月から、第二種奨学金（有利子）の貸与月額の上限が2万円引き上げられ、大学生12万円（現行10万円）に大学院生は15万円（同13万円）になります。また、有利子は希望するほぼ全員が貸与を受けられます。これにより、2007年度より7万5000人増えて過去最高の121万9000人となり、初めて120万人を突破しました。



## 妊産婦健診公費負担が拡充されます！

こどもを安心して出産できる環境づくりの一環として、公明党も積極的に推進してきた妊産婦健診の公費負担回数が、この4月から現行の4回から6回までに拡充します。また県外における里帰り出産も公費負担の対象となります。（母子手帳の交付を受ける時に説明がありますが、事前の申請と一時立替となります。）今後はこれで良しとするのではなく、尚一層の拡充に力を入れていきたい。



## 乳幼児医療費助成が拡充されます！

今年の8月から現行の6歳のお誕生日までの乳幼児医療費の無料が、就学前までに引き上げられます。突然子どもは怪我をしたり、病気になったりするため、保護者にとっては突然の出費等で頭を抱えることがあります。子どもを安心して育てるためにもこの医療費助成は必要な事業です。また、県でも子育て支援の一環として、同じく8月からやっと県内全域での医療費を立替えしなくて済む現物給付方式となります。



## 🔦🔦 昨年の11月にN・ニューリバーというグループを立ち上げました。

これは東山崎町の山崎橋付近の新川の清掃を行い、地域の人たちの憩いの場を提供することを目的としたボランティアグループです。きっかけは、川添校区には公園がなく子どもの遊び場がない。何とかしてほしいとの要望をあちこちの方々から受け悩んだ結果、支援者の方と相談をして、以前公明党の元県議が推進してきた新川の遊歩道を以前のように整備しようとして立ち上がりました。実施に当たり、県のリフレッシュ「香の川」パートナーシップ事業に申請し、活動の支援をいただきながら進めています。実施は毎月第四日曜日の8時から行っていますが、3月で4回目の出勤となりました。折角の日曜日にもガガわらず、朝早くから平均して20名くらいのメンバーが集っていただき、一番寒い日からの実施となりましたが、回をあうごとにきれいになっていくことに喜びを感じながら、皆で楽しく活動をしています。一年に一回くらい活動報告を今後掲載したいと思います。



新川をきれいにするぞ!!



ビッグニュースです！！  
3月23日の清掃で、一羽の白鳥を見ました。この川に白鳥がいるとは、すぐ目の前で見ることで感激です。この川をきれいにしてまた多くの白鳥が見れたらいいですね。



## 編集後記

今、時間を見つけては一人でも支援者宅を訪問させていただいています。突然の訪問にびっくりされる方、もちろん留守の方もおられますが、ゆっくり、じっくり対話することで、その方のご要望や今までの知らなかった環境を知り、頭の下がる思いでいっぱいになります。今後モコツコツ実践して行きます。